

御 挨拶



幹事長 田中 優一

平成19年度関東学生卓球連盟の事業が滞りなく終了しましたことを本誌をもってご報告させていただきます。

本年度は、関東学生卓球連盟創立80周年ということで、年度始めより例年にはないあわただしい始まりとなりましたが、幹事一同協力し合い、充実した活動を行うことができました。

各大会を振り返ってみますと、まず関東学連はじめの大会となります。新人戦では、新入生の埼玉工業大学・胡選手、早稲田大学・照井選手が優勝しました。春季リーグ戦では、男子1部は早稲田大学が昨春以来2季ぶりの優勝。女子1部は淑徳大学が4シーズン連続の優勝を飾りました。この代々木での1・2部リーグ戦の翌日には、関東学生卓球連盟創立80周年記念祝賀会が東京プリンスホテルにて開催され、リーグ戦の翌日にもかかわらず沢山の方にご出席していただき、盛大に行うことができました。関東学生では、明治大学・水野選手、日本大学・劉選手が初優勝となりました。ダブルスでは、中央大学・白神・森田組、淑徳大学・山梨・小野組がこちらも初優勝となりました。次に、関西学連主管のもと尼崎で行われました全日本大学対抗では、男子が、早稲田大学が3年ぶり14回目の優勝を、女子は、青山学院大学が14年ぶり9回目の優勝を果たしました。秋季リーグ戦では、男子1部は明治大学が昨秋以来2季ぶりの優勝。女子1部は春に続き淑徳大学が優勝しました。続いて、東海学連主管で行われました第74回全日本学生選手権では、男子シングルスで早稲田大学の久保田隆三選手が、女子シングルスで専修大学の杉本枝穂選手が初優勝を飾りました。また、男子ダブルスでは専修大学の徳増・森田組が初優勝。女子ダブルスでは青山学院大学の阿部・山崎組が3年ぶり2回目の優勝を飾りました。そして、12月に初めての関東学連主管で行われました、第4回全日本学生選抜選手権では、男子は早稲田大学の下山隆敬選手が優勝。女子は日本大学の劉一行選手が優勝し、両選手ともに有終の美を飾りました。また、ベスト4に入った選手が他学連勢をおさえ全員関東学連選手と大変よい結果となりました。また、創立80周年記念の事業の一環として、そして多くの選手に参加してもらえよう、検討を重ねてついに実現し開催された第1回関東学生卓球チームカップでは、多くの参加チームにより1ヶ月をかけ盛大に行うことができました。この第1回のAブロックの優勝は、男子が同士討ちを制した明治大学A。女子は東京富士大学Aが優勝カップを手に入れました。

その他の事業におきましては、会長杯・ニュートライアルなど例年通り充実した大会になったと思います。

この1年間幹事長を務めさせていただき、非常に貴重な経験を積むことができました。甘竹会長、理事の方々、企業の方々、学連役員と、多くの方々のおかげで最後まで勤めることができたと思います。今後は、この4年間で学んだことを生かしていきたいと思います。

最後になりましたが、今年度も事業運営にあたり数々のご協力を頂いた皆様に感謝を申し上げますと共に、81周年という新たな一歩を踏み出す来年度も引き続きご指導、ご支援、ご協力の程よろしく願いいたします。